

**保存版**

Electronic Journal

# 電子ジャーナル はじめの一步

バーチャル書庫の活用で、より充実した研究活動をサポート

今回は2006年から全学的に提供が開始されました、欧文を中心とした電子ジャーナルについてご紹介いたします。

## ◇ 電子ジャーナルの特色 ◇

電子ジャーナルは、学術雑誌がWeb上で閲覧できる形態となったもので、インターネットの普及に伴って発展してきました。紙に印刷された雑誌「冊子体」に対しWeb上で提供される事から、「電子ジャーナル (Electronic Journal)」と呼ばれています。従来の冊子体の内容(学術論文など)が、時間を問わずパソコン上で閲覧でき、印刷もできるという学習・研究活動上大変便利なツールです。

電子ジャーナルの利点として挙げられるものに「情報の速報性」があります。冊子体が「査読→印刷→配送」を経て提供されるのに対し、電子ジャーナルは「印刷→配送」を経ずにパソコン上で提供されます。また、受理された論文が出版前に閲覧できる「Pre-Publication」が取り入れられているものもあります。冊子体と比べれば閲覧までの時間が大幅に短縮され、最新の論文を得ることができます。

冊子体の場合、所蔵館まで出向く必要があり、かつ複数人数で同時に同じ雑誌を利用することはできません。しかし、電子ジャーナルの利用によって研

究室など学内のパソコンから24時間論文閲覧が可能で、複数人数が同時にアクセスできるようになりました。新しく発行される雑誌の中には冊子体では出版されず、電子ジャーナルのみで提供される形式も増えています。また必要な論文はその都度パソコンから印刷することもできます。

電子ジャーナルはデータベースとなっていますので、著者やキーワード・出版年などの様々なアプローチで論文を検索することもできます。図や表が検索対象となっているものもあります。

電子ジャーナル利用での他の利点として、参考文献などへの「文献リンク機能の充実」が挙げられます。冊子体の場合、参考文献を利用するには次々と冊子をひもとく必要がありましたが、電子ジャーナルの場合、参考文献にリンクがはられているので学習・研究に必要な文献へ、より簡単にアクセスできるようになりました。

その他のサービスとして自分のよく読む雑誌や、研究に必要なキーワード・検索式を、メールアドレスとともに登録しておくことで新着情報・目次などが送信されるアラートサービスも受けられます。登録された情報がホームページに届いたときには電子メールで配信されます。(P2図「冊子体と電子ジャーナル」参照)

## 冊子体と電子ジャーナル

### 冊子体

- 冊子体が出版後「郵送→受入→閲覧」できるまで時間がかかる  
(郵送事故などもある)
- 利用できる「場所」「時間」「人数」は限定される
- 必要な論文は現物をコピーする
- 参考文献の検索には必要な冊子をたどる

### 電子ジャーナル

#### 速報性

- ・出版段階でただちに論文などが公開される
- ・Pre-Publication記事の提供がある  
(冊子体出版前に論文が読める)

#### マルチアクセス

- ・研究室などの端末を含む学内のパソコンから24時間アクセスが可能
- ・複数ユーザが同時アクセスできる
- ・必要論文はパソコンから印刷できる

#### リンク・検索機能

- ・参考文献・引用文献などへリンクがはられている
- ・著者・キーワードなど様々な点から論文が検索可能

#### 付加サービス

- ・図や表が充実
- ・アラートサービス  
(雑誌名・キーワードなどの登録により新着情報をメールで配信)

### ◇ 電子ジャーナルへのアクセス ◇

では実際に電子ジャーナルを利用するにあたってのアクセス方法をご紹介します。

電子ジャーナルでは版元(出版社)がさまざまな雑誌を取りまとめ、パッケージとしてデータベース上で提供している場合が多く、雑誌がどのデータベースで提供されているかを特定することは容易ではありません。

そこで本学では、電子ジャーナルの全学提供に伴い、雑誌タイトルへのアクセスを可能にする「電子ジャーナルポータル(SerialsSolutions)」も併せて導入いたしました。

電子ジャーナルポータルを利用すれば、以下のような検索・確認がスムーズに行えます。

#### 検索

- 雑誌のタイトル・ISSN・主題などの項目により検索

#### 表示内容

- 本学から閲覧できる電子ジャーナルのタイトル・収録範囲の確認
- 本学で閲覧できる電子ジャーナル・データベースのパッケージの一覧確認  
(雑誌だけでなく、新聞記事を提供しているデータベースの検索も可能です)

新しいデータベースのみならず以前から活用されているデータベースにもポータルを利用することによりアクセスできるようになりました。電子ジャーナルポータルへは、図書館のホームページからアクセスしてください。(P3 図「電子ジャーナルポータルを利用して検索」参照)

### ◇ データベースから電子ジャーナルへのアクセス ◇

本学では「電子ジャーナルポータル」とは別に、雑誌論文などの記事索引を収録している二次文献データベ

ース(「FirstSearch」や「SCOPUS」など)から、電子ジャーナルを中心とした本学で利用可能なサービスへのリンクを容易にする、リンキングシステムである「ArticleLinker」も導入いたしました。(P4 表「電子ジャーナルポータルから利用できるデータベース・電子ジャーナル」「ArticleLinker 設定(二次文献)データベース」参照)

二次文献データベースを利用してキーワードなどを検索すると、各検索結果に **ARTICLE LINKER** のボタンが表示されます。このボタンがリンキングシステムへのリンクとなります。(P3 図「二次文献データベースを利用して検索」参照)

この機能により調べたい事柄やキーワードから必要とする雑誌、ひいては論文本文まで簡単にたどり着くことができます。また、本学にて電子ジャーナルが読めない場合でも、「DOORS」による学内の冊子体所蔵の検索、「WebcatPlus」による他大学での所蔵状況の検索、「GoogleScholar」による Web 上の論文情報確認等の作業も「ArticleLinker」の画面を通じて行うことができます。

### ◇ 電子ジャーナル利用上の注意 ◇

電子ジャーナル利用については冊子体などの従来の図書資料と同様、著作権などを遵守する必要があります。以下の行為は禁止されていますのでご確認の上、利用いただきますようお願いいたします。

- ☞ 短時間に大量のデータを取得すること
- ☞ データの著作権等を侵害すること
- ☞ 個人利用の範囲を超えた利用
- ⊖ 違反があった場合は全学の利用が停止される恐れがあります

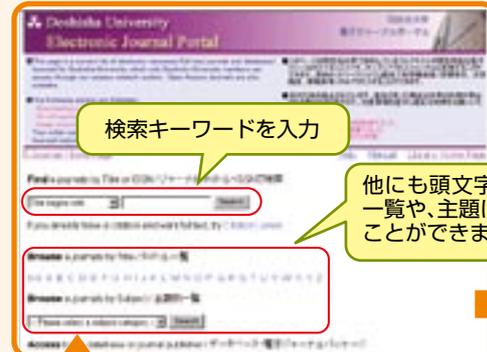
図書館ホームページ「データベース・電子ジャーナル」には利用上の注意点やお知らせ、FAQなどの情報が掲載されております。ぜひご覧ください。

電子ジャーナルポータルを利用して検索

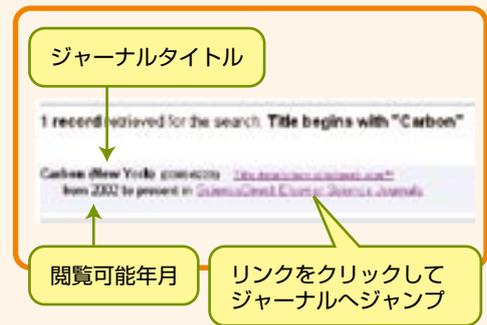


データベース・電子ジャーナルの  
トップページへいきます。  
必ずチェックしてください

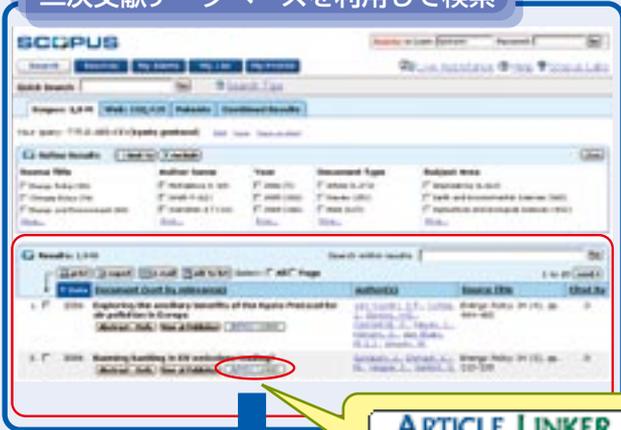
(電子ジャーナルポータル検索画面)



(検索結果画面)



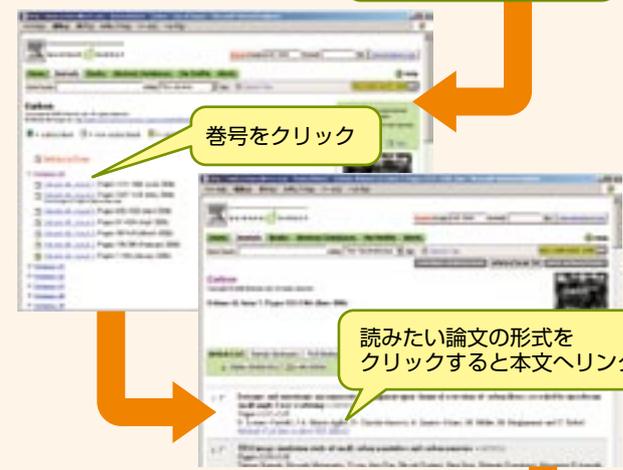
二次文献データベースを利用して検索



ARTICLE LINKER

Article をクリックすれば、  
読みたい論文の本文が  
表示できます。

Step2 に表示される  
リンク情報から、雑誌  
(冊子体)の所蔵を  
調べてください



論文本文のページ



学習・研究ツールとして電子ジャーナルをぜひ大いに活用してください。

電子ジャーナルにアクセスできない、論文のページが表示されないなど、電子ジャーナルの利用についてのご質問は情報サービス課情報サービス係にて承ります。

問合せ先

総合情報センター  
情報サービス課情報サービス係

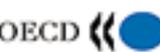
E-mail

ji-srv@mail.doshisha.ac.jp

TEL

075-251-3980

◇ 電子ジャーナルポータルから利用できるデータベース・電子ジャーナル ◇

	パッケージ名	内 容
	 Biography Resource Center + Marquis Who's Who	Gale 社提供の海外人物情報データベース Gale 社発行の辞典・定期刊行物と Marquis 社発行の各種 Who's Who に収録された人物情報の検索が可能
	 Directory of Open Access Journals (DOAJ)	Sweden の Lund University Libraries が提供する全分野を網羅する 2,000 誌を超える電子ジャーナルリンク集 その内の 500 誌以上は全文閲覧可
<b>NEW</b>	 EBSCOhost	EBSCOhost 社提供の索引・全文データベース 本学では SocINDEX with Full Text 及び LISTA (Library, Information Science & Technology Abstracts) を利用することができる
	 Factiva.com	Factiva 社提供の世界各国ニュースの全文データベース 通信社配信の記事や有力紙、主要ビジネス誌など約 9,000 の情報ソースの検索が可能
	 HighWire Press (Free Journals)	米国スタンフォード大学図書館の一部門である HighWire Press が提供する生命科学分野を中心とするオンラインジャーナルコレクション 本学では刊行後一定期間経過したバックナンバー等の無料で閲覧できるもののみアクセス可能
<b>NEW</b>	 Humanities and Social Sciences コレクション	500 を超える学協会に代わり、権威ある学術誌を出版している Blackwell 社が提供するジャーナルオンラインサービスで、本学では人文社会科学系の約 340 誌の全文が利用可能
<b>NEW</b>	 InterScience	Wiley 社が提供するオンラインコンテンツサービスで、科学技術や医学などの専門分野を代表する 400 タイトル以上の全文ジャーナルをオンラインで配信しています 本学では購読誌のみアクセス可能
	 J - STAGE	科学技術振興機構 (JST) 運営の自然科学関連の全文データベース 日本国内の学協会発行の学術雑誌について論文記事の検索が可能 Free のものは全文閲覧が可能
	 JSTOR	JSTOR 提供のコアな学術雑誌の全文データベースで利用可能ファイルは次のとおり Arts & Sciences I Collection, Arts & Sciences II Collection, Arts & Sciences Complement Collection, Business Collection, Language and Literature Collection
	 LexisNexis™ Academic	LexisNexis 社提供の世界各国ニュースの全文データベース 通信社配信の記事や有力紙、主要ビジネス誌のほか、法律、企業情報など約 5,900 の情報ソースの検索が可能
<b>NEW</b>	 Oxford Journals	Oxford University Press 発行雑誌の全文データベース 人文・社会科学を中心に自然科学も含めた論文の全文閲覧が可能
	 ProQuest Academic Research Library	ProQuest 社提供の索引・全文データベース 各分野の学術雑誌記事の検索と全文閲覧が可能
	 PubMed Central	米国国立医学図書館が提供する生命科学分野の無料のオンラインジャーナルコレクション 一部の雑誌は、刊行後一定期間経過したバックナンバーが無料
<b>NEW</b>	 ScienceDirect	Elsevier 社発行の学術雑誌の全文データベース 過去約 5 年分の論文全文のほか MEDLINE 収録の抄録、参考図書の間読が可能
	 Source OECD	OECD 発行資料の全文データベース 図書、逐次刊行物、統計資料の全文閲覧が可能
<b>NEW</b>	 SpringerLink	Springer 社発行の学術雑誌の全文データベース 本学では、自然科学を中心に人文・社会各分野を網羅する論文の全文閲覧が可能
	 The New York Times	ProQuest 社が提供するアメリカの有力紙 The New York Times の全文データベース 1980 年以降は、LexisNexis™ Academic や Factiva.com で閲覧可能
	 The Times Digital Archives	Gale 社が提供するイギリスの有力紙 The Times の全文データベース 1985 年以降は LexisNexis™ Academic や Factiva.com で閲覧可能

◇ ArticleLiner 設定 (二次文献) データベース ◇

	データベース名	内 容
<b>NEW</b>	 Current Contents Connect	ISI 社提供の自然科学関連の索引データベース 学術雑誌、図書、会議録の論文記事の検索が可能。本学では Life Sciences・Physical, Chemical & Earth Sciences を利用することができる
	 EBSCOhost	EBSCOhost 社提供の索引・全文データベース 本学では SocINDEX with Full Text 及び LISTA (Library, Information Science & Technology Abstracts) を利用することができる
	 Engineering Village 2	Engineering Information 社提供の工学関連の索引データベース 雑誌や会議録の記事が検索可能 本学では Compendex を利用することができる
	 First Search	OCLC 提供の総合情報検索サービスで ArticleFirst、ECO、Econlit、ERIC などの雑誌記事索引の検索が可能 WorldCat ではアメリカを中心とする世界の大学図書館等の所蔵検索が可能
	 Google Scholar (BETA)	Google 提供の検索対象をインターネット上の学術情報に特化した検索エンジン 査読論文、学位論文、書籍、抄録等の検索と本学購読 EJ 等の全文閲覧が可能・リンク表示は Full-Text@DoshishaUniv
	 JDream II	科学技術振興機構 (JST) 提供の科学技術関連の索引データベース JSTPlus、JMEDPlus、MEDLINE、医学・薬学予稿集全文データベースの論文記事の検索が可能・リンク表示は Your Collection
	 Linguistics and Language Behavior Abstracts	CSA 社提供の言語学関連の索引データベース
<b>NEW</b>	 MLA International Bibliography	MLA (Modern Language Association of America) 作成の文学・言語学・民俗学関連の索引データベース 世界各国の雑誌・図書・報告書・会議録の論文記事の検索が可能
	 SCOPUS	Elsevier 社提供の自然科学関連の索引・引用文献データベースで海外・学術雑誌の論文記事の検索が可能 引用文献へのリンク、1996 年以降の参考文献へのリンクがはられており、共通の参考文献を有する論文の検索も可能
	 Ulrichsweb.com	Bowker 社が提供する世界各国発行の逐次刊行物の情報を収録する "Ulrich's Periodicals Directory" のデータベース 出版情報のほか、書評データや電子版の有無、査読 (論文の掲載審査) の有無も確認できる